

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「明るく楽しく和やかに」をモットーとして「家庭にあるが如く」を目標に掲げ日々理念の実現に努めています。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の部会で運営理念について共有しその具体化について話し合っています。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	2ヶ月に1回の運営推進会議に地域の代表の方に出席していただき活動報告やそれに対してのご意見を頂いております。	包括支援センターが主となって行っている、地区の連絡協議会に今後は積極的に参加し、グループホームの役割りなどアピールしていきたくと思っています。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	郊外施設の為近隣の方達と交流は持っていませんがお向かいの小学校の生徒さん達と交流を図っています。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	年に1~2回地域のお楽しみ会に参加させて頂いています。又ホームで月1回絵手紙教室を開催し地域の方達にも参加を呼びかけております。	絵手紙教室を通して地域の方達グループホームの役割りや入居者の皆さんと交流を図って頂き認知症への理解を求めていきたいと思っています。また近隣の小中学校の行事に声をかけて頂いているので積極的に参加して行きたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	管理者は認知症ケア専門士の資格を取得しているので地域に住んでおられる、認知症のお年寄りの介護について相談がきた場合に出来る限り相談に乗るようにしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を受け自分達では帰が付かなかった事など教えて頂く機会が持てるという意識のもと改善に取り組んでいます。		お風呂場が施設の物的という事を言われ、浴室と脱衣場の間にシャワーカーテンを取り付けた。それにより広い空間からくつろげる空間へと変化し、入居者の皆さんも喜ばれている。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回地域の民生委員の方介護相談員・地域包括支援センターの職員・ご家族代表の方併設特養の施設長に参加して頂きご意見を頂いております。		外部評価での評価を報告した際、項7のようなご意見やその他ご自分のマイ茶碗・マイ箸を持つ事でご自分の物は大切にすることでというご意見を頂いたので実践し、今は使用されていて好評です。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	疑問に思う事などは市の担当者に連絡を取りアドバイスを頂いております。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在制度を利用されている方はおられないが、今後必要に応じて制度を活用して行きたいと思っています。		制度についての勉強会を行い、管理者だけでなく職員も必要な方にそれらを活用できるようにしていきたいと考えています。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常日頃から虐待に関する情報やホーム内での防止に努め、ご家族との情報交換を密に取り未然に防げるように努めています。(外泊・外出の機会が多くある入居者のご家族に対して)		項目10と同じ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所前に見学・面接時説明を行い契約の際には今一度説明をさせていただいています。また解約する際は必ず次の受け皿が見つかったから解約する事にしています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>新潟市の介護相談員が月1回訪問し入居者の皆さんとの会話から意見を引き出して聞いて頂いています。</p>	<p>今後不満や苦情等が聞かれた場合に速やかに対処出来るように入居者・職員で話し合いをする機会を持ちたいと思います。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>3ヶ月に1度会計報告と合わせて居室担当から近況報告と写真・しんせいだより(写真入りの活動報告)を送付しています。その他健康に関する事ではお薬の内容変更や病状報告はその都度資料送付やお電話をさせていただいています。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム玄関脇の事務所の窓口に意見箱を設置していつでもご意見を受けられるようにしています。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回部会の時に業務の見直しや入居者の皆さんがより良く生活出来るかを話し合う機会を設けています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者が勤務を作成しており緊急時や状況変化に対して調整を行っています。職員もそれを理解しており全体でフォローアップに努めています。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>働きやすい職場作りや、悩み・ストレスの解消に努め、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしています。代わる場合は同レベルの経験豊富な人材を採用し利用者への不安解消に努めています。加えて日々の申し送りや月1回の部会などで注意を払っています。</p>	
18-2	<p>マニュアルの整備</p> <p>サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。</p>	<p>夜間緊急対応・衛生管理・感染症対応・介護看護マニュアル等整備しています。又職員も周知しており、適宜見直しを行っています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員が段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている</p>	<p>外部の研修に積極的に参加情報交換し、研修内容をいかに実務に反映していけるかを検討しています。又研修に参加した職員は月1回の部会において内容を説明し情報を共有しています。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他グループホームを入居者も参加し、見学訪問させたり、新しく立ち上げの施設の職員研修を受け入れたりして交流を図っています。又見学時他グループホームの経験・業務内容・体験談を通して学びの機会を確保し当グループホームの質の向上を図っています。</p>	<p>今後も相互の悩みや良い点など話し合える場を広げサービスの質を向上したいと思っています。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員同士の話し合いを実施したり職員同士の親睦会を実施したりして、悩みやストレスの解消に努めています。又日頃から園長がホームを訪れ気軽に話しを出来る雰囲気にはしています。(小さな散歩道があり、職員・入居者ともに心身休まる空間を確保しています)</p>	<p>ホームでも月1回程度食事会をしお互い親睦を深め、ストレスの発散をしています。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>日々職員個々の勤務状況を把握し、職員の意見を取りいれて働きやすい職場作りに努めています。</p>	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面接の際、ご本人にグループホームとはどんなところかを良く説明し、現在お困りの事やどういう生活をしていきたいかを受容の態度で接し伺っています。それに対してお手伝いさせて頂く事を話し安心感を持って利用出来るようにしています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>申し込みの段階から良く話しを伺い何が一番お困りで何を求めているのかを考え傾聴しています。内容に応じてアドバイス出来る所は出来る限り対応し、不安感を取り除きホームを活用して頂けるように話し合いの場を設けています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	項目24同様に話し合いを行い、ご本人の認知症の進行や身体の状態(既往歴・現病歴)ご家族の介護力などの情報を見極め他のグループホームやサービス機関の紹介も行って支援の輪を広げるように努めています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスを利用する前には必ずご本人とご家族にホームを見学・体験して頂き、他の入居者の方や職員に話しが出来るように配慮し馴染めるような雰囲気作りに努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	季節折々の行事ごとや社交の場での振舞い方など、常日頃からアドバイスを求め教えて頂いています。		日常生活の会話の中で若い頃の話を引き出し生活で工夫していた事など、実際に実演して頂いたりして生活の中に取り入れて行きたいと思います。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	病院受診時やしんせいだより送付時に現在の状況をお伝えし、ご家族からの相談も随時受け付け、良い関係を築いています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事にはご家族にも参加をお願いし、楽しい時間を出来る限り一緒に過ごして頂けるような支援に努めています。		ご本人が不穏な時はご家族の協力を得てご本人と電話で話して頂いたり、面会や外出の機会を持って頂いたりしています。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時に普段のご様子や、面会后大変喜ばれ安心されて過ごされていた事などを報告し次に面会に来ていただいた時に繋げられるように支援しています。		ご家族の協力のもと以前住まわれていた地域へ外出をしてもらい、職員も同行させて頂きその環境を把握してその後の介護に役立てています。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の相性を考慮し食事の席やレクリエーションをする際の配置などを職員が間に入り会話の仲介役になるように努め楽しい雰囲気になるように支援しています。		何をするにも拒否傾向の強い方には仲良しの入居者の方に声をかけてもらいお互い必要とされているという気持ちになって頂ける様にしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	特養へ入所された方々が行事に参加されていたり、見かけた際は声を掛けたり、ホームから利用者と一緒に面会に伺ったりしています。又ご家族が来られた際は相談に応じています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の生活リズムに合わせ、ご本人の希望や意向に添うよう常時対応しています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査の際ご本人やご家族から生活歴や以前の暮らし方を聞き取りそれに近づけるよう配慮しています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日中夜間を通して毎日介護記録を記入し日々の生活状態を把握しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人ご家族の意向を事前に伺い、それに添うように居室担当を中心にご本人・ご家族と話し合いをし、ご本人の状態に合わせた介護計画を作成しています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の見直しを基本とし毎月1回処遇検討会議を開催し話し合いをしています。またホームで対応しきれない問題にはご家族に相談し協力して頂いています。		身体レベルの変化があった場合は随時担当者会議を開き話し合いを行っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中、夜間の生活記録、個人活動表を記入し、職員同士情報の共有を行いながら介護計画に活かしています。		介護経過記録にケアプランに添った目標とそれに対しての計画・実行の内容を記入しており、実践できるように努め随時見直しを行っています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設の特養でのPTによる集団リハビリや訪問歯科のサービスを受けられる体制になっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ドライブや行事の際にはボランティアを要請し地域の方々から参加して頂き支援して頂いています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ケアマネジャーや特養に相談して必要に応じて支援しています。		オムツ券やシルバーカーの給付申請の手続きや福祉用具の支援などケアマネジャーやサービス事業者に協力してもらっています。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月毎に運営推進会議を実施し、地域包括支援センターから情報提供して頂いています。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月1回協力病院へ定期受診に行き、現病の治療を継続出来る様に支援しています。皆さん月1回の病院受診を楽しみにされていて、先生も良く話を聞いてくれて馴染みの関係になっています。		ご本人・ご家族の希望で他のかかり付けの病院や医院にかかりたいなどあった場合協力しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院の主治医から専門医を紹介して頂き相談治療をしています。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力病院の看護師が顔馴染みになり相談したり支援して頂いております。又併設の特養看護師に急変時応援を頼んで来てもらっています。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は定期的に面会に行き、ケースワーカーと看護師に状況説明を受け、情報交換をしています。又その状態をケアスタッフに伝えていきます。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末ケアは行っていません。重度化した場合は併設の特養や協力病院などにスムーズに移れるように支援する旨を事前にお伝えしています。また延命治療に関する同意書を頂いております。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	緊急時特養看護師からの協力を得て状態を把握し、かかりつけ医に受診する体制になっています。		終末期のケアに対応出来るように、訪問看護等利用を検討していきたいと思っています。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人の性格、食事の嗜好・生活歴・既往歴・現病歴・趣味に至るまで細かく書面にて提供できるように配慮しています。		移られてからも個人情報に留意しながら情報提供を行っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	今まで生きてこられた人生の中での負の部分を理解した上で言葉かけや対応に配慮しています。	外部からの訪問者等に一個人として対応して下さるようお願いし、実習生の受け入れの際は外部に情報を漏らさないように指導しています。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	様々な行事やレクリエーション、又入浴や買い物への参加など自己決定できるように働きかけています。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別で散歩やテレビ・音楽など希望される時は出来るだけ、それに添うように支援しています。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月1回ボランティアの美容師に髪を切っていただいています。又洋服など一緒にお店に行き選んで頂きおしゃれを楽しんで頂けるように支援しています。	ご本人・ご家族に以前アンケートを取ったところ、昔行っていたところへは行かなくて良いと回答を頂いた為、現行のスタイルになりました。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの役割分担のもと楽しく食事が出来るように支援しています。	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	週3回の買い物の中でおやつや飲み物の希望があれば意に添うように支援しています。誕生月にはご本人の好きな献立を伺い取り入れています。	各個人に嗜好に合わせ、献立内容を変更し対応しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を記入することにより、排泄パターンを把握し声かけや誘導を行い失敗しないように配慮を行っています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月～土の午後に入浴時間として、最低週2回は入浴して頂けるように支援しています。又拒否が多い方には全身清拭や足浴などで対応しています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夕食後の軽いお茶タイムを実施しゆったりした時間を過ごすことにより、夜間も問題なく良眠されています。		居室の装飾等入居者の心休まる物を置き、ゆったりとした気持ちでお休み頂ける様配慮しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜の皮むきや衣類の畳物、裁縫など得意ま方には手伝って頂いています。又男性の方には荷物もちなど簡単な力仕事もお願いしています。		今後も入居者の個性を活かせるような支援をしていきます。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はご家族との相談で所持されていません、週3回の食材の買出しや外出の行事などで欲しいものを購入出来るようにしています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を希望される方にはほぼ毎日、園の公園や園外を職員と散歩されています。又お天気の良い時は車でドライブに出掛けたり近郊の公共施設に出掛けたりしています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月1回は外出の行事を企画しており、ご家族とも連絡を取って一緒に参加をして頂いています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が希望された時は了解をえて、職員が取り次ぎ電話で話されています。又手紙は本人宛に届いた物はお渡し代読の支援をしています。		月1回の絵手紙教室にて描かれた作品をご家族へお送りしています。希望があれば入居者の方からも手紙を出せるよう支援して行きたいと思っています。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	玄関に行事の写真や絵を飾り、いつでも入りやすい雰囲気を中心にしています。居間や居室でゆったりと過ごして頂けるようお茶をお出ししたり椅子やワゴンテーブルを準備して職員も笑顔で対応しています。		玄関まわりを季節ごとに模様替えするなどして今後も入りやすい雰囲気を心がけて行きたいと思っています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が理解しており身体拘束はしていません。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	原則として夜間等を除き外への出入りは自由に行えるようにしていますが、必ず職員が付き添わせて頂いています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は台所・居間に常に職員がおり見守りが必要な方には付き添っています。又夜間は左右見渡せるホールに在中し、安全に配慮しています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物等は台所の決められた場所に置いてあります。薬は全て事務室で保管しています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ひやりはとつや状況報告書などで事例を部会で検証し再発の防止や予防に努めています。		特養と合同の消防訓練や地震の避難訓練など定期的に行っています。(夜間・日中想定)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	安全管理マニュアルに従い対応しています。又消防士さんによる心肺蘇生の指導も受け急変時に速やかに対応出来るように備えています。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併設特養と合同で消防訓練や地震を想定した避難訓練を定期的に行っています。(夜間・日中想定)		運営推進会議などで緊急時には協力を得られるようお願いをしています。又向かいが消防署なのですぐに駆けつけてもらえるように日頃からお願いしています。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	精神・身体状況の変化が見られた際はその都度ご家族に報告して、ご本人が穏やかに過ごせる一番の方法を話し合っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1人ひとりの表情・顔色歩行の様子・食事の様子等に目を配り小さな事でも気になった事は他の職員の意見を求めより良い対応に努めています。		ご自分から不調を訴えられる事が少ないので発熱のように分かりやすい物意外は発見が遅れがちになります、更に細やかな見守り声掛けに努めたいと思います。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬される方の病名を把握し、飲んで頂く時は再度名前・日付の確認をしお渡ししています。体調不良見られる時は早めに主治医の指示を仰いでいます。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立の内容・水分補給・歩行訓練に取り組んでいますが、トイレの回数を心配されてあまり飲みたがらない方が多いのでゼリーや水分の多い果物等で対応しています。		食物繊維の多い食材や添加物の少ない物・水分を多く含むおやつなどなるべく手作りの物を提供出来る様に努力して行きたいと思っています。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床後と各食後の歯磨き・舌ブラシを実行し就寝前には義歯のポリドント消毒を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量には気を付け体調が悪いのか、食べにくかったのか・好みでなかったのかを尋ね献立の参考にしています。		栄養上から食事は最重要です、食べやすくして食欲をそえられる食事作りに取り組んでいきたいと思っています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後や1日1回は必ずイソジンガーゲルでうがいをして頂き、手指消毒を行っていただいています。又安全管理マニュアルに沿って実行しています。		外部からの来訪者やご家族の面会の際はうがい・手洗いを励行していただき、インフルエンザの時期にはマスクの着用をお願いしています。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品は新鮮なもの、献立は必ず火を通した物、調理器具は必ず食器乾燥機で消毒して片付けるようにし、衛生面に気を配っています。		週3回冷蔵庫整理・清掃を実施し賞味期限の確認や在庫整理を徹底し衛生管理に努めています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関までは緩やかなスロープになっており両脇には手すりも設置してあり安全に出入りが出来るようになっています。また玄関回りや食堂の前に庭があり季節ごとの花を植えて明るい雰囲気を作っています。		設置してあるグループホームの案内板をもっと工夫して分かりやすくしたいと思います。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入浴の時間を楽しいものにする為に脱衣場と浴室の仕切りにシャワーカーテンを取りつけ、窓辺には緑や花を飾っています。又食堂には庭で咲いた季節の花を飾り楽しまれています。		季節の行事の中でホールにてお雛様や小さい鯉のぼり・七夕飾りなど装飾しています。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	東と西側の各廊下の突き当たりにソファが設置してあり誰とは言わず自然に利用され談笑の場になっています。		よりその場所が活用されくつろげる空間になるように本棚を設置し目でも楽しめるような空間にしていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や置き物を設置して在宅時の生活感が少しでも得られるようにしています。		個々のケア状況や意向に合わせた居室作りを目指しています、例えばベッドサイドに安心支えバーを設置したり、夜間のみポータブルトイレを置いたりしています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室で空調管理を行っています。又体調や外気温の変化を観ながらご本人に確認して換気や温度調節をこまめに行っています。		一人ひとりの快適な室温をよく知り調整に努めています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下の両サイドや2ヶ所のトイレに手すりが設置しており、安全かつ残存機能が活かせるように働きかけています。		浴室にも要所に手すりやバーを設置し安全に楽しく入浴出来るように支援しています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご自分の居室が分かりやすいようにネームプレートの他に大きな字で書いた名前を書道が得意な方に書いて頂き各扉に貼ってあります。又トイレや浴室には表示プレートが見やすい高さに設置してあります。		居室やトイレが分からなくなっている人には行動観察を良く行い、気付きの目を心掛け、声掛けしています。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りの空き地にベンチを設置して日向ぼっこやお茶タイムをしています。又園の公園へ散歩へ行ったりして季節の草花を楽しまれています。外回りのフェンスを利用して布団干しを手伝って頂いたりしています。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

口腔ケアに力を入れていて、誤嚥性肺炎の防止や毎日美味しく食事が出来るように支援しています。またクラブ活動では月1回ボランティアの講師の方を招いて絵手紙教室を開催しています、その際には地域の方にも呼びかけて一緒に参加して頂きグループホームへの理解していただくように働きかけています。日々のレクリエーションも週4日はひまわりクラブと称して機能訓練や調理レク・歌など様々職員が工夫を凝らして行っています。その時その時が楽しく穏やかに過ごせるように職員一同笑顔を絶やさずケアにあたっています。